

平成28年度公立高等学校・中等教育学校(後期課程)における 英語教育実施状況調査【集計結果】

※調査基準日は、指定がない場合は、平成28年12月1日現在とする。

1. 学校及び学科について

1-(1) 学校数

学校数	3,390
-----	-------

1-(2) 学科の数

高等学校設置基準第5条及び第6条の区分により学校に設置されている学科の数を記入

学科の区分	設置数	
①普通科	2,328	①: 高等学校設置基準第6条第1項の学科の数 ②: 高等学校設置基準第5条第2号の学科の数 ③: 高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち、英語教育を主とする学科の数 ④: 高等学校設置基準第6条第2項第14号の学科の数 ⑤: 高等学校設置基準第6条第3項の学科の数
②専門教育を主とする学科 (③、④の学科を除く)	1,984	
③英語教育を主とする学科	83	
④国際関係に関する学科	56	
⑤総合学科	312	
総学科数(①～⑤)	4,763	

2. 生徒の英語力に関すること

2-(1) 生徒の英語力の状況【生徒数を入力する】

注)「英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に英検準2級以上は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教員が判断する生徒の人数を指す。

	高等学校第3学年に所属している生徒数…(a)	(a)の内、英検を受験したことがある生徒数…(b)	(b)の内、英検準2級以上を取得している生徒数…(c)	(a)の内、英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒数[(c)以外]
①普通科	477,457 人	193,518 人	75,914 人	148,769 人
②専門教育を主とする学科 (③、④の学科を除く)	182,163 人	33,269 人	8,823 人	13,168 人
③英語教育を主とする学科	5,537 人	3,942 人	3,044 人	2,017 人
④国際関係に関する学科	3,402 人	2,754 人	2,061 人	586 人
⑤総合学科	51,124 人	12,241 人	3,377 人	4,232 人
計(①～⑤)	719,683 人	245,724 人	93,219 人	168,772 人

2-(2)「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定・公表及び達成状況の把握の状況 【該当学科数を入力する】

注1)『「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標』とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能別に記述したものを指す。

注2)「公表」とは、「学校だより」で紹介したり、学校のホームページに掲載したりなどすることで、生徒、保護者及び地域住民に広く伝えている状態のことを指す。

注3)「達成状況の把握」とは、テスト等の実施により、設定した学習到達目標の達成状況を客観的に把握している状態を指す。

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学科数…(a)	(a)の内、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学科数…(b)	(a)の内、学習到達目標の達成状況を把握している学科数…(c)
①普通科	2,034 学科	685 学科	986 学科
②専門教育を主とする学科 (③、④の学科を除く)	1,743 学科	518 学科	797 学科
③英語教育を主とする学科	81 学科	33 学科	44 学科
④国際関係に関する学科	52 学科	19 学科	24 学科
⑤総合学科	287 学科	98 学科	132 学科
合計(①～⑤)	4,197 学科	1,353 学科	1,983 学科

3. 英語を使用する機会の増加に関すること

3-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動時間の割合

※「外国語(英語)」の授業において、ペア・ワークやグループ・ワーク等を含めて生徒が英語で言語活動をしている時間の、1単位時間の授業に占める割合(%)【該当教員数を入力する】

注1) ペア・ワークやグループ・ワーク等とは、生徒間での英語を用いたやり取りを基本とする。

ただし、教員が英語を用いて生徒とやり取りを行う時間等も含めること。

注2) 言語活動とは、現行の高等学校学習指導要領に規定されている言語活動のこと。「話すこと」だけではなく、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の言語活動も含む。

例1:「説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。」(「コミュニケーション英語Ⅰ」の言語活動のイ)

例2:「開いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。」(「コミュニケーション英語Ⅰ」の言語活動のウ)

注3) 英語担当教員とは、教員免許「英語」を所有し、かつ調査時点で英語の授業を担当している者(校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師(常勤に限る))を指す。非常勤講師及び臨時的任用の者は除く。

(以下、4の(1)～(4)及び5も同様)

注4) 該当学科ごとに、1単位時間(50分)で生徒が英語を用いて言語活動している時間のおおよその割合に当該科目を担当する教員数を記入すること。なお、授業を開設していない場合には記入を要しない。

① 普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,291	6,902
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,767	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,249	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	595	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	1,174	7,009
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,578	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,552	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	705	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	755	6,156
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,836	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,418	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,147	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	841	6,636
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,199	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	2,502	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,094	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	846	8,189
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,357	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	3,254	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	1,732	

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	370	3,214
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,110	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,334	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	400	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	305	2,925
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	982	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	1,263	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	375	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	94	733
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	249	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	290	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	100	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	186	1,600
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	557	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	655	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	202	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	93	774
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	237	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	316	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	128	

③英語教育を主とする学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	13	17
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	0	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	109	261
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	95	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	51	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	6	

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	144	209
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	30	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	31	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	4	

④国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	16	31
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	9	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	6	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	116	221
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	76	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	22	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	7	

(ウ)「異文化理解」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	57	96
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	19	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	16	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	4	

⑤総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	120	1,036
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	336	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	437	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	143	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	92	997
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	300	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	431	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	174	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	60	573
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	172	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	226	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	115	

(エ)「英語表現Ⅰ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	69	768
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	211	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	340	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	148	

(オ)「英語表現Ⅱ」

授業に占める言語活動の時間の割合	該当する英語担当教員数	合計
授業中、おおむね言語活動を行っている (75%程度以上～)	41	435
半分以上の時間、言語活動を行っている (50%程度以上～75%程度未満)	106	
半分未満の時間、言語活動を行っている (25%程度以上～50%程度未満)	179	
あまり言語活動を行っていない (～25%程度未満)	109	

3-(2)「話すこと」及び「書くこと」における「外国語表現の能力」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの状況

- 注1) 「実施回数」とは、当該学科・学年の生徒全員を対象としたテストの回数を指す。
- 注2) 音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストに含めない。
- 注3) ライティングテストは定期考査における出題も含む。ただし、学習指導要領に示す言語活動(例:「コミュニケーション英語Ⅰ」であれば、「聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く」)などに沿った出題・評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題は含めない。

①普通科における実施の有無及び実施回数

【本年度実施した、あるいは本年度中にパフォーマンステストを実施する計画が明らかにある場合は、「実施した」の欄に「1」を入力する。それ以外は「実施しない」に「1」を入力する。】

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,460	832	36
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	1,310	989	29
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	787	1,206	335
(エ)「英語表現Ⅰ」	1,423	779	126
(オ)「英語表現Ⅱ」	1,133	652	543

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピー キング テ ス ト	スピーチ	1,185	967	468	1,144	628
	インタビュー(面接)	1,042	864	384	701	367
	プレゼンテーション	985	857	427	788	547
	ディスカッション	219	204	152	114	158
	ディベート	107	149	85	107	140
スピーキングテスト総合計		3,538	3,041	1,516	2,854	1,840
ライティングテスト(エッセイ等)		1,633	1,615	1,119	2,947	3,434
その他(※下記に詳細記述)		295	152	33	41	61

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く。)における実施の有無及び実施回数

注)専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く)が複数ある場合は、それぞれの学科について回答する。

例えば、専門教育を主とする学科が2つあり、共に実施の場合は「実施した」の欄に「2」と入力し、また、2つの学科が「実施した」と「実施しない」の場合はそれぞれの欄に「1」を入力する。

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	1,116	831	37
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	885	740	359
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	211	315	1,458
(エ)「英語表現Ⅰ」	669	553	762
(オ)「英語表現Ⅱ」	236	183	1,565

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

注)学科が複数ある場合は、全ての学科の実施回数の和を入力する。

	(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ	
スピーキングテスト	スピーチ	1,103	787	110	536	99
	インタビュー(面接)	1,148	788	104	434	97
	プレゼンテーション	733	597	120	482	115
	ディスカッション	80	82	34	50	19
	ディベート	10	25	11	48	36
スピーキングテスト総合計	3,074	2,279	379	1,550	366	
ライティングテスト(エッセイ等)	1,135	1,021	251	1,165	628	
その他(※下記に詳細記述)	106	77	14	18	3	

③英語教育を主とする学科における実施の有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	7	1	75
(イ)「総合英語」	66	15	2
(ウ)「異文化理解」	73	8	2

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

	(ア) コⅠ	(イ) 総英	(ウ) 異理	
スピーキングテスト	スピーチ	5	69	94
	インタビュー(面接)	4	73	71
	プレゼンテーション	10	58	138
	ディスカッション	1	46	55
	ディベート	1	19	32
スピーキングテスト総合計	21	265	390	
ライティングテスト(エッセイ等)	12	179	218	
その他(※下記に詳細記述)	2	3	8	

④国際関係に関する学科における実施の有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	13	7	36
(イ)「総合英語」	45	10	1
(ウ)「異文化理解」	37	8	11

※上記の項目において、実施した場合、次の項目に実施回数を記入(予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) 総英	(ウ) 異理
スピー キング テスト	スピーチ	7	47	24
	インタビュー(面接)	5	41	18
	プレゼンテーション	14	76	50
	ディスカッション	3	37	14
	ディベート	2	7	6
スピーキングテスト総合計		31	208	112
ライティングテスト(エッセイ等)		29	195	64
その他(※下記に詳細記述)		0	2	0

⑤総合学科の実施における有無及び実施回数

	実施した	実施しない	授業を開設していない
(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」	180	126	6
(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」	152	146	14
(ウ)「コミュニケーション英語Ⅲ」	111	104	97
(エ)「英語表現Ⅰ」	167	116	29
(オ)「英語表現Ⅱ」	101	64	147

※上記の項目において、実施した場合、次の項目について実施回数を記入。(実施予定を含む)

		(ア) コⅠ	(イ) コⅡ	(ウ) コⅢ	(エ) 英表Ⅰ	(オ) 英表Ⅱ
スピー キング テスト	スピーチ	154	129	80	132	66
	インタビュー(面接)	145	105	53	89	31
	プレゼンテーション	104	85	78	83	71
	ディスカッション	23	26	12	15	19
	ディベート	1	2	4	5	2
スピーキングテスト総合計		427	347	227	324	189
ライティングテスト(エッセイ等)		170	154	104	326	200
その他(※下記に詳細記述)		2	4	3	13	2

4. 英語担当教員の英語力・指導力等に関すること

4-(1) 英語担当教員の英語力の状況【教員数を入力する】

注1)「英語能力に関する外部試験」とは、実用英語技能検定(英検)、TOEFL、TOEICを指す。

注2)「英検準1級以上等」とは、英検準1級以上以外にTOEFLのPBT550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上またはTOEIC730点以上を指す。

該当教員数…(a)	(a)の内、英語能力に関する外部試験を受験した経験のある英語担当教員数…(b)	(b)の内、英検準1級以上等を取っている教員数…(c)
23,379 人	18,485 人	14,268 人

【上記注2以外の資格・検定試験により教員の英語力を把握している場合】

※教育委員会において、上記注2以外の資格・検定試験により教員の英語力を把握し、英検準1級以上等に相当する資格等を有する教員がいる場合は、次の項目に記入すること。

※この場合、「英検準1級以上等に相当する」とは、CEFR(外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠)B2レベル以上とすること。

英検準1級以上相当を取得している教員数(cを除く)…(d)
280 人

教員が取得している資格・検定試験のスコア等がCEFRのB2レベル以上に該当するか否かについては、各教育委員会において「英語力評価及び入学者選抜における資格・検定試験の活用促進について」(平成27年3月31日付け26文科初第1495号)などの通知や、英語4技能資格・検定試験懇談会による「英語4技能試験情報サイト」(<http://4skills.eiken.or.jp/>)における「資格・検定試験CEFRとの対照表」などを参考に、各教育委員会において判断すること。

4-(2) 英語担当教員の海外留学経験等の状況【教員数を入力する】

注1) (b)「海外留学経験等」とは、海外にある学校や研修施設等へ通った実績を指す。
高等学校卒業段階までに海外に在留し、現地にある学校(日本人学校を除く。)へ通った経験も含む。

該当教員数…(a)	(a)のうち、海外留学経験等のある英語担当教員数…(b)			
	～1ヶ月未満	1ヶ月以上～半年未満	半年以上～1年未満	1年以上～
23,379 人	3,523 人	3,018 人	2,996 人	2,446 人

4-(3) 英語担当教員に対する集中的な研修の実施状況 (平成27年度実績) 【教員数を入力する】

注1) 本設問における「集中的な研修」とは、高等学校の英語担当教員を対象として、複数日にわたって学習指導要領に基づく授業の展開方法や、具体的な言語活動の指導や評価の方法などについて理解と実践を深めることで指導力の向上を図る研修(小学校教員や中学校英語担当教員との合同研修も含む)のことを指す。研修が断続的に複数日にわたって行われる場合も含めること。

注2) 研修の受講が、自費によるものか公費によるものかは問わない。

【平成27年度実績】

	市町村教育委員会が主催した研修		都道府県・指定都市教育委員会 が主催した研修	
	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修
実施した教育委員会の数	1	1	56	12
研修を受講した教員数	14 人	1 人	6,621 人	128 人

	民間・財団法人等が主催した研修	
	国内で実施した 研修	海外で実施した 研修
研修を受講した教員数	2,239 人	176 人

4-(4) 英語担当教員による校内研修等の実施状況 (平成27年度実績)

① 英語担当教員同士の授業公開の実施				合計
実施している	2,885	実施していない	544	3,429
② 英語担当教員による指導と評価に関する研修の実施				合計
実施している	2,005	実施していない	1,406	3,411

5. 授業における英語担当教員の英語使用状況【教員数を入力する】

①普通科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」 科目を担当する英語担当教員総数 6,902 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	1,233	6,902
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,715	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	2,954	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」 科目を担当する英語担当教員総数 7,009 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	977	7,009
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,712	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,320	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅰ」 科目を担当する英語担当教員総数 6,156 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	546	6,156
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,937	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,673	

(エ)「英語表現Ⅰ」 科目を担当する英語担当教員総数 6,636 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	650	6,636
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,094	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	3,892	

(オ)「英語表現Ⅱ」 科目を担当する英語担当教員総数 8,189 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	548	8,189
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	2,311	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	5,330	

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く。)

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」 科目を担当する英語担当教員総数 3,214 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	281	3,214
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,185	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,748	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」 科目を担当する英語担当教員総数 2,925 人

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	242	2,925
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	1,060	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	1,623	

(ウ)「コミュニケーション英語I」

科目を担当する英語担当教員総数	733 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	77	733
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	270	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	386	

(エ)「英語表現I」

科目を担当する英語担当教員総数	1,600 人
-----------------	---------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	154	1,600
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	531	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	915	

(オ)「英語表現II」

科目を担当する英語担当教員総数	774 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	70	774
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	250	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	454	

③英語教育を主とする学科

(ア)「コミュニケーション英語I」

科目を担当する英語担当教員総数	17 人
-----------------	------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	13	17
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	4	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	0	

(イ)「総合英語」

科目を担当する英語担当教員総数	261 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	106	261
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	98	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	57	

(ウ)「異文化理解」

科目を担当する英語担当教員総数	209 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	146	209
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	25	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	38	

④国際関係に関する学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数	31 人
-----------------	------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	18	31
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	6	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	7	

(イ)「総合英語」

科目を担当する英語担当教員総数	221 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	120	221
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	66	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	35	

(ウ)「異文化理解」

科目を担当する英語担当教員総数	96 人
-----------------	------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	57	96
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	22	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	17	

⑤総合学科

(ア)「コミュニケーション英語Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数	1,036 人
-----------------	---------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	92	1,036
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	363	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	581	

(イ)「コミュニケーション英語Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数	997 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	52	997
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	350	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	595	

(ウ)「コミュニケーション英語Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数	573 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	36	573
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	218	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	319	

(エ)「英語表現Ⅰ」

科目を担当する英語担当教員総数	768 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	43	768
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	214	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	511	

(オ)「英語表現Ⅱ」

科目を担当する英語担当教員総数	435 人
-----------------	-------

	該当する英語担当教員数	合計
発話をおおむね英語で行っている (75%程度以上～)	14	435
発話の半分以上を英語で行っている (50%程度以上～75%程度未満)	122	
発話の半分未満を英語で行っている (～50%程度未満)	299	

6. 外国語指導助手(ALT)等の活用状況

注)各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられるが、本調査における「外国語指導助手(ALT)」とは、英語の授業などで、計画的・継続的に活用している外国人のことを指す。英語以外の外国語を担当するALTは含めないこと。

6-(1)ALT等の活用人数の状況

【(ア)～(エ)及び(キ)については、教育委員会が回答する】

注1)人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答すること。

注2)「高等学校におけるALT活用人数…(a)」とは、中学校等と兼務している人数も含む。

同一のALTが複数の高等学校で活用されている場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントすること。

注3)「自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外で教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのこと。

注4)「派遣契約によるALT」とは、派遣先(教育委員会)と派遣契約を結んだ派遣元(会社)により派遣されるALTのこと。

注5)「請負契約によるALT」とは、注文主(教育委員会)と請負契約を結んだ請負業者(会社)により派遣されるALTのこと。

注6)「その他のALT等」とは、ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材で、以下の(ア)～(エ)に該当しない者などが含まれる(日本人、留学生等も含む)。なお、「その他のALT等(日本人)」とは、第一言語を日本語とする者とし、「その他のALT等(外国人)」とはそれ以外の者とする。

	高等学校におけるALT等活用人数…(a)	(a)のうち、小学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、中学校とのみ兼務するALT等活用人数	(a)のうち、小学校及び中学校と兼務するALT等活用人数
(ア)JETプログラムによるALTの人数	1,677 人	4 人	62 人	26 人
(イ)自治体が独自に直接任用しているALTの人数	471 人	7 人	19 人	13 人
(ウ)派遣契約によるALTの人数	74 人	1 人	0 人	0 人
(エ)請負契約によるALTの人数	357 人	1 人	13 人	4 人
(オ)その他のALT等の人数(日本人)	10 人	0 人	1 人	0 人
(カ)その他のALT等の人数(外国人)	250 人	2 人	7 人	22 人
(キ)上記の他、「補習等のための指導員派遣事業」のうち、高等学校英語で活用している人数	3 人	0 人	0 人	2 人

6-(2)ALTの任用・契約形態の状況 **【学校は回答しない(教育委員会が回答する)】**

注1) 複数回答可。

注2) 英語以外の外国語を担当するALTは含まないこと。

	都道府県	指定都市	市町村
JETプログラムによりALTを任用している自治体の数	42	11	33
独自でALTを直接任用している自治体の数	8	9	19
派遣契約によりALTを活用している自治体の数	2	1	3
請負契約によりALTを活用している自治体の数	9	5	7
その他の方法によりALTを活用している自治体の数	17	15	14

6-(3)高等学校等へのALTの民間委託等に関する留意事項の周知状況について、該当する欄に「1」を入力**【請負契約によりALTを活用している教育委員会が回答する】**

	平成28年4月以降に学校に文書により通知	平成28年4月以降に校長等管理職を対象とする会議で通知の内容を周知	平成28年4月以降に各学校の担当者を対象とする会議で通知の内容を周知	平成28年4月以降に学校へは周知していない
外国語指導助手の請負契約による活用について(業務内容の確認及び外国語会話の実演)(平成28年8月27日26初国教大92号)の内容について	5	3	12	4

6-(4)派遣又は請負契約におけるALTの給与等の把握状況について**【教育委員会が回答する】**

派遣契約又は請負契約によるALTを活用している教育委員会において、ALTの賃金や社会保険の加入状況について、該当する欄に「1」を記入すること。また、把握していない場合は、その理由をそれぞれ記入すること。

	派遣契約のALTの賃金	請負契約によるALTの賃金	派遣契約のALTの社会保険加入の有無	請負契約のALTの社会保険加入の有無
把握している	2	9	6	17
把握していない	4	12	0	4

6-(5)ALT等の年間活用総授業時数(平成27年度実績)

注1) 1単位時間は50分として計算すること。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算すること。

注2) (a)では、各学校の第1学年から第3学年までの全ての学級における外国語(英語)の年間総実施時数の合計を記入すること。

(b)では、(a)のうちALT等を活用した総授業時数の合計を記入すること。

注3) (a)には、外国語(英語)の授業以外(例:総合的な学習の時間)の時数は含めないこと。ただし、外国語(英語)に関する選択科目や学校設定科目は含む。

①普通科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	8,031,693	717,327
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		2,828
合計	8,031,693	720,155

②専門教育を主とする学科(英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く。)

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	1,779,238	221,429
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		2,070
合計	1,779,238	223,499

③英語教育を主とする学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	134,066	41,598
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		686
合計	134,066	42,284

④国際関係に関する学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	85,820	29,938
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		70
合計	85,820	30,008

⑤総合学科

	(a)総実施時数の計	(b)ALT等活用総授業時数の計
ALT(※任用・契約形態は問わない)	764,043	84,121
留学生や、日本人で英語に堪能な地域人材		295
合計	764,043	84,416

7. 小学校・中学校との連携（平成28年度）

	連携している	連携していない	合計
英語教育に関する小学校・高等学校の連携	357	3,033	3,390
英語教育に関する中学校・高等学校の連携	879	2,511	3,390

※「連携している」場合

情報交換(指導方法等についての検討会、合同研修の実施等)	541
交流(異校種の授業参観、高等学校の外国語担当教員による小学校や中学校での授業等)	790
その他(以下に具体的に記入)	138

8. 英語の授業におけるICT機器の活用状況（28年度）

注) 英語に関する科目及び学校の総体として回答すること。

8-1) 英語の授業におけるICT機器活用の有無

	平成28年度
活用した(する)	2,893
活用しなかった(しない)	497

(1)の平成28年度実績で、「活用した(する)」と回答した学校は、(2)及び(3)に回答すること。

8-2) 活用したICT機器

電子黒板	パソコン	書画カメラ (実物投影機)	指導者用タブレット	生徒用タブレット	デジタルカメラ
485	2,547	837	1,455	504	492

デジタルビデオカメラ	TV会議システム	その他
527	53	684

※「タブレット」には、スマートフォンを含む。

8-3) ICT機器活用頻度等

	概ね毎時間活用	授業時数の半分程度活用	ほとんど活用しない
主たる教材・教具として活用	414	335	229
補助的に活用	261	947	707